



原子力規制を監視しようニュース

原子力規制を監視する市民の会 090-8116-7155 2022/5/20

福島第一原発・汚染水放出反対 住民・漁業者の声を無視するな パブコメを出して放出止めよう！

◆原子力規制委員会が海洋放出を認める審査書案…パブコメ（意見募集）が始まりました

5月18日の原子力規制委員会において、福島第一原発の処理汚染水の海洋放出について、認可を前提とした審査書案が承認され、6月18日までの期限でパブリック・コメント（意見募集）がはじまりました。ぜひ反対意見を集中し、海洋放出をとめましょう！

東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所の実施計画変更認可申請（ALPS処理水の海洋放出関連設備の設置等）に係る審査書案へのパブリックコメント募集中 FAX：03-5114-2188

<https://onl.bz/8FgNRsh>

審査書案（解説図面付） <https://www.nsr.go.jp/data/000390170.pdf>



パブコメのタネ

◆漁業者・住民の声を聞きもせずに「『理解促進』を満たしている」とは！？

- 措置を講ずべき事項「Ⅶ. 実施計画の実施に関する理解促進」では、実施計画の実施に当たっては、同計画の対策やリスク評価の内容、対策の進捗状況等について、継続的に、地元住民や地元自治体をはじめ広く一般に説明や広報・情報公開を行い、その理解促進に努めることを求めている。＜審査書案 P29＞
- 規制委員会は、東京電力が実施計画の実施に関する理解促進に努めるという目的に対し、廃炉・汚染水対策最高責任者の直下に設置した廃炉情報・企画統括室を、実施計画の理解促進の改善等の継続的実施のための指導及び提言を行う組織として新たに位置付け、わかりやすい情報の公開を継続的かつ迅速に行うための確認・連絡体制を強化するなど、適切な取組がなされることから、措置を講ずべき事項「Ⅶ. 実施計画の実施に関する理解促進」を満たしているものと認める。＜審査書案 P29＞

- 福島第一原発の処理汚染水の海洋放出については、全国漁業協同組合連合会の岸宏会長が、首相と経済産業大臣に対し「いささかも反対に変わらない」と表明したように、住民や漁業者らが明確に反対の意思を示している。『理解促進』が進んでいないことは明確であり、認可の条件を満たしていない。
- 住民や漁業者らが明確に反対の意思を示している状況で、海洋放出の手続きを進めるべきではない。原子力規制委員会は、政府が海洋放出を進める動きを止めなければならない。
- 住民は、福島県内だけでなく、全国各地で公聴会を開催することを求めている。住民や漁業者の意見も聞かなくうちに海洋放出を進めるべきではない。

◆人と環境への影響評価において放射能の蓄積による影響が考慮されていない

- ・ 規制委員会は…人と環境に対しての影響が十分に小さいことを確認した<審査書案 P32>
- ・ 海浜砂等への移行に伴う放射性核種の蓄積については、放出開始と同時に海水中の濃度と平衡状態に至る設定で評価をしており、長期間にわたる放出によって環境中の放射性核種の濃度が最も高くなると考えられる状態で評価している<審査書案 P35>

- 海浜砂等への放射性核種の蓄積について「放出開始と同時に海水中の濃度と平衡状態に至る設定で評価している」とあるが、海藻などに蓄積した放射能により海水中の濃度が上がる現象（フィードバック）について考慮されていない。
- 海藻などと海水中で放射能がやりとりされることにより海水中の放射能濃度が相対的に上昇する現象がセラフィールドなどで観測されている。こうした影響を考慮しない評価は不十分である。

◆海洋放出が最適なのか？長期保管案について検討されていない

- ・ 本審査においては、ALPS処理水の海洋放出が特定原子力施設全体のリスク低減及び最適化を図るものであることを確認する。<審査書案 P3>

- 審査書案は海洋放出が最適化を図るものと決めつけているが、漁業者らが提起している長期保管案について検討されていない。

◆耐震安全上最も脆弱なタンク周辺の移送用配管は今回の審査の対象外

- ・ 規制委員会は、耐震Cクラスの設備に要求される地震力に対して十分耐えられる海洋放出設備とすること、耐圧ホース等については材料の可とう性により耐震性を確保すること、…から地震を適切に考慮した設計及び対策となっていることを確認した。<審査書案 P14>

- タンク周辺にある移送用配管は、海洋放出の際には、処理汚染水の攪拌のためにも用いられることになっている。海洋放出が長期に及ぶことにより劣化が進み、耐震性も低下することが懸念されるが、今回の審査では対象外となっている。その意味でも、今回の審査書案は不十分である。